

令和２年度第１回墨田区廃棄物減量等推進審議会【書面開催】
決議結果及びご意見等に対する区からの説明・回答

１ 会長・副会長の選任について（議題２）

承認多数の結果、萩原 なつ子会長、見山 謙一郎副会長の選任が承認されました。

２ 墨田区一般廃棄物処理基本計画（素案）について（議題３）

No	委員からのご意見・ご質問内容	区からの説明・回答内容
１	・ごみを排出する側の責任として、「消費者」の役割について言及した方がよいと思う。 ・食品ロスの削減、プラスチックごみの削減などに責任をもって取り組むこと	○区民の役割の説明の中に、「消費者」の役割について言及するよう修正を検討します。 ○食品ロスの削減、プラスチックごみの削減などの各種課題については、区民・事業者の取組を支援するとともに、行政の役割（施策）として、責任をもって必要な施策を実行していきます。
２	・新型コロナウイルス感染症に適応した廃棄物処理については、通常のごみ収集も含めて、収集する側の立場にたって、分別や廃棄を責任をもって行うなどの一文を入れてはどうか	内容を精査したうえで、追加を検討させていただきます。
３	基本方針の４から２に「参加・協働の促進」を引き上げたこと、「リサイクル清掃事業」を「３Ｒ推進・清掃事業」に発展させた点、目指すべき方向がよりクリアになったと思う。 「参加・協働の促進」を進めていく為には、「区民の能動的参加意欲を引き出す工夫」を常に意識する必要があると思う。これは、ＳＤＧｓの「誰一人取り残さない」という理念にも繋がるものであり、小中学生に向けた環境教育に加え、今後の人口動態に鑑み、高齢者、外国人居住者に向けた墨田区ならではの取組についても、是非、考えていければと思う。 また、新型コロナウイルスへの対応、対策についてだが、家庭から排出されるごみの量や質的な変化を注視するとともに、感染症対策についても、想定し得る限りの対応を議論、検討する必要性を感じている。 国の環境政策についても、今後、大きな変化が予想されるので、国の政策検討状況を可能な範囲で紹介しながら、引き続き、墨田区	○「参加・協働の促進」については、これまで、「自転車の海外供与等リユース・リサイクル事業」や「羽毛布団のリサイクル事業」などにより、区民・事業者と協働した取組を推進してきました。今後も引き続き、区民・事業者・行政が一体となって取り組める施策等を展開していきます。 また、高齢者や外国人居住者に向けても、「施策⑨わかりやすく、きめ細やかな情報提供」にあるように、情報の「見える化」や「やさしい日本語」を活用し、今後の人口増加や人口構成を見据えた啓発・周知を行っていきます。 ○新型コロナウイルス感染症対策については、現在、環境省から示されている「廃棄物処理における新型コロナウイルス対策ガイドライン」等に基づき、作業員のマスク・手袋の着用と手洗い・消毒の徹底を実施し、感染拡大防止対策を実施したうえで収集・運搬作業を行っているところです。 今後も、ご紹介いただいた情報や感染の動向や国の通知等を基に、感染症拡大防止対策への対応について適時見直しを行い、「安定性・継続性のある収集・運搬体制」を整備していきます。

	の政策に貢献できればと考えている。	
4	日本は世界から見ても意識が薄いので、もっと関心をもって一人一人が意識できればと思います。	本計画については、数値目標の単位を「区民1人1日あたりの量」としており、区民1人ひとりの取組の成果がみえやすい目標を設定しています。 今後は、区報やHPを含めた様々な媒体で情報を提供していくとともに、区民1人1人が関心をもって具体的な行動ができるような啓発活動を展開していきたいと考えています。
5	「住み続けたい町」を実現するために、環境問題・廃棄物問題の改善が最重要課題の一つなので、墨田区として政策強化・財政支援をしてほしい。 ・外国人にも分かり易い拠点回収の標識の作製 ・集団回収への積極的支援 優良団体の表彰と公表 ・スポーツごみ拾い等、楽しいイベント開催と啓発活動の実施	食品ロスの削減、プラスチックごみの削減などの各種課題については、区民・事業者の取組を支援するとともに、行政の役割（施策）として、責任をもって必要な施策を実行していきます。 また、頂いた3つの具体的な取組については、各施策の「主な取組」の中で追加・修正を検討させていただきます。
6	・プラスチックをサーマルリサイクルしてから分別意識が軽薄になってきたと思われる。集団回収活動の盛んな区民なので、分別の見直しをすれば、資源物回収量は増加すると思う。 ・人口増加、外国人の増加傾向が続いている状況で、家庭ごみの減量を推進する決め手は家庭ごみの有料化だと思う。レジ袋の有料化が実現し、受益者負担・環境負荷に関心が持たれ始めた今が「家庭ごみ有料化の検討」の時期だと思う。 ・「ウイズコロナ時代」においては、（施策等の）適時見直しが必要だと思う。	○分別の徹底については、引き続き啓発・指導を行い、資源物回収量の増加を図っていきます（施策⑪） ○家庭ごみの有料化については、他区や東京23区清掃一部事務組合等との連携を図りながら検討してまいります（施策⑥） ○新型コロナウイルス感染症がごみ・資源物処理に及ぼす影響については、適時、調査・分析のうえ、施策やごみ処理体制等を見直していきます（施策⑰）
7	国連が定めてSDGsの視点を墨田区一般廃棄物処理基本計画に取り入れて問題意識を高めるうえでは良かったと思う。その中で当審議会では特に何を重点的に行うかをはっきり決めることが重要ではないか。 「食品ロスの削減」や「プラスチックごみの削減」等を区の施策として盛り込んだと素案の概要に記載されていましたが、それではまだ漠然として範囲が大きいと思う。「食品ロスの削減」というなら墨田区では特に「外食産業における食品ロスを無しにする取組として〇〇している」、また、墨田区の食品を扱っている商店では「食品の売れ残りを少なくするために〇〇の取組をしている」など具体的な取り組みを示していくような目標を定めた方が区としての本	本計画においては、10年間という長期的な施策・ごみ減量目標を記載しています。食品ロスの削減やプラスチックごみの削減、SDGsへの取組については、区民・事業者・行政と幅広いアプローチ手法があり、具体的な取組や目標については、計画策定後の審議会等で活発な議論をさせていただき、毎年度の実施計画にて反映していきたいと考えております。

	気度をアピールするうえで良いのではないか。このような突っ込んだ取り組みは審議会では扱うのか。 また「プラスチックごみの削減」に関しても例えば「レジ袋の辞退率を90%にする」という目標を墨田区として掲げたとする。そのために「区民みんなが常にエコバックを持参するようになれば達成できると仮定したらどのようにしたら区民がエコバックを持ってくれるかを考える必要があると思う。例えば（私見ではあるが）墨田区は繊維業者が多いので、エコバックを不要になったTシャツや衣類から作るアイデアを繊維業者からもらうとか区民の手作りエコバックのコンテストをするなど、墨田区ならではの取組ができたなら興味深いのではないか。 今回の基本計画にSDGsを掲げたならぜひ審議会では区としてそれを達成するうえでのやるべき取り組みを議題に掲げてもらいたい。	
8	新型コロナウイルス感染症に適応した廃棄物処理」を施策として盛り込んだとありますが、冊子の資料3の記載を見ると主な取組では詳細なことは記載されていないと思います。例えば、収集するうえで感染防止対策で具体的な取組まで議題に挙げるのか。以前何かのニュースで見たが、一般ごみの袋で破けた状態の袋の中に紙おむつが入っていたとか使用済みマスクがあったなど触れると感染の危険性が高いようなものが混在していて収集の人が怖いという報告があった。そのような問題の対処を審議会では議論することまで考えているのか。それとも収集する人が自ら対策をとることに任せてしまうことで済ませてしまうのか。できればコロナウイルス感染を防ぐうえで、ごみの排出方法や収集から感染を防ぐうえでの施策も議題に挙げて良いのでは。	新型コロナウイルス感染症対策については、現在、環境省から示されている「廃棄物処理における新型コロナウイルス対策ガイドライン」等に基づき、作業員のマスク・手袋の着用と手洗い・消毒の徹底を実施し、感染拡大防止対策を実施したうえで収集・運搬作業を行っているところです。 今後も、感染の動向や国の通知等を基に、感染症拡大防止対策への対応について適時見直しを行い、「安定性・継続性のある収集・運搬体制」を構築していきます。 なお、10月中旬に予定している「第2回審議会」においては、令和元年度のごみ量等の実績報告とともに、新型コロナウイルス感染症に対する区の実施等についても報告させていただく予定です。
9	素案P6について。図9ごみ・資源処理の主な流れと運営主体の表現において、後でも再度もうしあげるが、如何に資源の有効化と具体的な削減計画を掲げなくてはならないかという説得力ある説明のためにも大変な作業であるが、具体的な排出量や限界埋め立て量を明記（アロウアンスを設定しても）したマスバランスシートにした方が、良いのではないかと考えますが如何か。	ごみ・資源処理の主な流れと運営主体の表現について、墨田区の排出量については、把握できますが、中間処理施設にて他区のごみと合わさるため、墨田区に特化してのマスバランスの記載は困難と考えていますが、本区として取組みが可能な範囲での内容について、検討させていただきます。
10	素案P21について。◎基本理念 の文中で『身近に感じてもら	内容を精査したうえで、文章の追加を検討させていただきます。

	う必要があります。』の後に、可能なら以下の文言の一部でも加えて頂きたい。 ▶『本来廃棄物は、利用者の享受した後の残物で、「ごみ」というよりも「資源」と考えた方がよく、倫理的要素が色濃く内在しているので、排出においてはたとえ一人であっても減量化に取り組む責務が有るのではないのでしょうか。権より始めよという言葉がありますが、まずご自分で出来ることから取り組むことをお願いします。この働く姿が地域の人々の輪を作っていきます。一方排出し分別された資源を有価物として活用するためには、単に事業者任せだけでなく場合により、多大なコストや組織化が必要で、ここに国・都・区の役割があります。』	
1 1	素案P 2 6について。5. 施策の展開 施策の方向(1)の最後に『役割を明確化し、その取組を支援します。』とあるが、以下の文言を加えた方がよいと思うが如何なものか。 ▶『役割を明確化し、その取組として区民の自由闊達なごみ減量化活動として、既存の事業者などと連携した独自のシステム作りなども支援します。』	内容を精査したうえで、文章の追加を検討させていただきます。
1 2	素案P 2 7について。区民の役割 1 ごみの発生・排出抑制の取組の②マイバック・マイボトルの積極的は利用の文中において、『マイバック・マイボトルの衛生面を十分に考慮して』を加えた方がよいのではと思う。	内容を精査したうえで、文章の追加を検討させていただきます。
1 3	素案P 2 7について。④ 水切りの徹底の文中、生ごみはよく水気を切るとともに、翌日まで乾燥させて排出という内容は、夏場は短い時間でキツイ臭気が発生するケースが多いので、この点を加味してみても如何か。	内容を精査したうえで、文章の追加を検討させていただきます。
1 4	素案P 2 8について。3. 排出ルールの徹底 ①分別排出の徹底の文中で、『特に燃やすごみと燃やさないごみに含まれる紙類のチラシ・OA用紙・その他の紙類などを資源ごみとして出す一方、これから新たに資源ごみに加えられるプラスチック製品も資源ごみとして分別排出し、燃やすごみには燃やせないごみを混ぜず、燃やさないごみには燃やせるごみを入れないで排出する責任があります。』と一部変更したら如何なものか。	内容を精査したうえで、文章の追加を検討させていただきます。
1 5	素案P 3 1について。施策の方向(2)の前に『■区の役割』	区の役割及び事業者の役割については、「施策の方向(1)」として記載してい

	を加えた方が良いのではないかと。なぜならこの前で■区民の役割および■事業者の役割と謳っているのです。	ます。そのため、施策の方向（２）の前に「■区の役割」を加えることは考えていませんが、区の施策体系図の中で、「施策」を「施策（区の役割）」と修正します。
16	素案P34について。施策⑥ 家庭ごみの有料化の検討の文中で、確かに国から示されており、法的にも既成路線であることは論を待たない事実であるが、上から目線的な感じもするのでより分かりやすく説明した方が良いのではないかと。例えば①区・都においては新海面処分場などが将来的に枯渇し、②燃料費・人件費・運搬費などの高騰による今後の区財政面の逼迫が想像に難くなく、③資源の自給自足の点から循環・再生型社会を作っていく必要はないのかと噛み砕いたらどうか。	内容を精査したうえで、文章の追加を検討させていただきます。
17	素案P34について。施策⑨ わかりやすく、きめ細やかな情報提供 において、4行目『啓発と合わせた情報提供を強化していきます。』の後ろに以下の一文を加えたらどうか。 ▶『また、マンションおよび戸建て住宅などへの転入者に関しては、転入時に組織としてごみ処理やリサイクル事業の施策や処理の現状を説明すると共に、住居ごとに排出方法を説明する義務が今後の大切な活動の一つとして準備を進めております。』	内容を精査したうえで、文章の追加を検討させていただきます。
18	素案P39について。4. 計画指標と目標値 においては、今までのまとめと具体的提言を行う重要な部分であるから、以下の一文を加えたらどうか。 ▶『(1) 前計画の指標と目標達成状況 においては、廃棄物の焼却処分や埋め立て処分に関しては、東京都や23区との協調体制が非常に重要なので、P. 50の東京都資源循環・廃棄物処理計画に準拠して持続可能な循環型社会の更なる発展の為、墨田区として以下の指標を提言するものです。』	内容を精査したうえで、文章の追加を検討させていただきます。
19	巻末について。専門用語が散見されるので、巻末に若干の索引を記した方が良いのではと思うが、どうか。	ご指摘のとおり、資料編に、用語集を加えます。
20	頂いた資料、基本計画は基本計画なので仕方ないにしても、素人の私からするとわかりづらく、理解するのが難しい。もう少しわかりやすい形の文章で出せないのかと思う。	計画中の専門用語については、資料編に用語集を加え、理解しやすいよう修正を加えます。
21	ロックダウン等で家にいる機会が多くなり、ゴミで出方も変わっ	今日のコロナ禍の状況を踏まえ、ごみ処理を取り巻く変化に対応するために

	ていると思う。出前や Uber Eats 等のデリバリーが増えると容器等もゴミも増える。また、ネットショッピングも増えて、段ボール等のゴミを増えた様に思う。この様な変化にすぐに対応出来るようにしていかないといけないかと思う。ゴミの問題はそれだけでなく、様々な問題とリンクしていると思う。 なので、もっといろいろな所と連携をして話し合う必要があると思う。その為にはもっといろいろな人との連携が必要だと思う。	は、より一層、区民・事業者・行政が一体となって「参加・協働」を推進していく必要があると考えています。そのためには、ごみ問題について広く関心を持ってもらう必要がありますので、情報提供・啓発を進めていきます。 また、「参加・協働の促進」については、これまで、「自転車の海外供与等リユース・リサイクル事業」や「羽毛布団のリサイクル事業」などにより、区民・事業者と協働した取組を推進してきました。今後も引き続き、区民・事業者・行政が一体となって取り組める施策等を展開していきます。
2 2	コロナ禍により不要不急の外出を控え、在宅時間が長くなっているが、私は今回こういう時に出来る事を、改めて身近な家庭内から考えてみた。例えば、お祭りやお水のペットボトルも今までは時間に追われ、つい購入し、そのペットボトルも洗浄後捨てていたが、今は、お茶は全てやかんで沸かし、それを使用後のペットボトルに入れ替えて飲んでいる（その使用したペットボトルも洗浄し、何度か使用するようになった）。本当にシンプルなことだが、このようなことも続けていけば当たり前になってくると思った。 また、テレビ等でも在宅時間を楽しく過ごしていく為の番組をよく目にする。例えばただの段ボールもちょっと手を加えれば色々なものに変身してしまうことなど…。コロナ化でマイナス面が多い中でも、そんな時だからこそ身近な所から改めて見直してみる機会かと思った。	ご意見にあるとおり、一人ひとりが、少しずつでも環境にやさしいライフスタイルに転換していくことが重要と考えています。区は、区民 1 人 1 人が具体的な行動を実践できる行動について、啓発や情報提供を進めていきます。 また、在宅時間や在宅学習が長くなっていることから、令和 2 年 6 月 5 日付で、廃棄物処理やごみ減量の工夫などを解説する動画アニメーションを Youtube にアップし、家庭内でごみ処理等を学習できる啓発を実施しています。 ▼動画「おしえて！すみにゃ〜る」 URLhttps://www.city.sumida.lg.jp/kurashi/gomi_recycle/douga/douga-3r.html ※区の HP の各リンクから動画のサイトに飛べます。
2 3	今回の資料の中で、自転車や羽毛布団のリサイクル事業で無料で回収していただけると初めて知った。とても良いことだと思う。ただ、私だけかもしれないが、この情報を知らない人も多いのではと思った。私は新聞もとっておらず（最近、私の周りもほとんどとっていない人が多い）、滅多に“墨田区のお知らせ（区報）”を目にすることもないからなのか。このような情報はどのような形で皆様に告知されているのか。	区では、区報・HP に加え、令和元年度に各町会・自治会から選出された委員から構成される「墨田区清掃リサイクル地域推進委員」に自転車等の事業説明・案内チラシを配布し、各町会・自治会にも情報提供しているところです。 現在、申込受付時点でこの事業をどのような媒体で知りえたかを確認していますが、①区報 ②HP の順で高い状況です。引き続き、区民に広く情報が提供できるよう、周知方法について考えていきます。
2 4	ごみ・資源物の排出状況（P7）、区民 1 人 1 日あたりごみ量や羽毛布団のリユース・リサイクルの無料回収など興味のあるものでした。もう 1 点興味は令和 11 年度からの清掃工場の建替え工事です。工事期間中の焼却事業も心配されるが、どんな工事なのか、予算	墨田清掃工場の設置・管理は墨田区でなく「東京 23 区清掃一部事務組合」となり、設計計画・費用等は「東京 23 区清掃一部事務組合」が行うこととなります。現在、建替え時期以外の情報は未定ですが、詳細が決まり次第、順次区民に広く情報を提供していきます。

	は？どんな建物になるの？民間の意見は取り入れてもらえるのか？などです。	
25	主な課題（P17）、食品ロスの削減問題、プラスチックごみの削減は、今議論しなければならない問題だと思いますが、海洋プラスチックごみに加え、2016年に発見された大気中のマイクロプラスチック問題では、環境との関連だと考えます。	食品ロスの削減やプラスチックごみ削減問題については、ごみ減量の観点だけではなく、環境問題として対応していかなければいけない課題と捉えており、清掃事務所だけでなく、区の環境保全課等と連携して取り組んでいく必要があると考えております。
26	事業系ごみの減量対策について。気になるのは、4次計画策定方針方の変更点。（3）ごみ推計量数値目標「区民1人1日あたり」の目標1と2です。墨田区民総数との関係もあるかもしれませんが、年間総排出量も設定した方が良くないのでしょうか。	年間総排出量については、区の人口の増減に大きく影響を受けるため、本計画では参考値扱いとして算出しています。なお、事業系ごみ（許可収集・持込ごみ）については、経済的指標に相関があるとされており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、推移を注視する必要があると考えています。
27	1人あたりのごみ減量について、コロナの関係でテイクアウトの容器が非常に売れている現状で、個人のごみの量がかさばっていて、多いように見受けられる。レジ袋の有料化に伴い、レジ袋を買っている方は少なく、ランチ時等は直接手にもって、レジ袋を使っていない姿も見られる。マスク、消毒用の手袋、ペーパー類は前よりも増加しているのではないかと。改めて、ごみ減量に取り組まなければならないと思う。	レジ袋有料化後にごみ排出実態調査は実施していないため、ごみとして排出されるレジ袋の量などは現時点で不明ですが、収集現場においては、レジ袋をごみ袋として排出している家庭が減っていると報告を受けています。
28	P43 ごみ・資源物排出量の予測について、目標を達成した場合の年間総排出は、人口増を加味しての数値か	年間総排出量の内訳のなかで、区収集ごみ量・資源物回収量については、P3の今後の人口推移を加味した数値となります。許可収集・持込ごみ（事業系ごみ）量については、経済的指標を加味して推計しています。
29	P31 施策②において「すみだのR」とはどういうことか	本計画においては、3R（リデュース・リユース・リサイクル）のなかでも、優先順位の高い2R（リデュース・リユース）の取組を積極的に推進していきます。 このことに加え、区がごみ減量に最も有効と思われる新たな「R」づくり（例：リペア（修理して使う）、リフューズ（ごみとなるものを断る）を進め、「すみだのR」として取りまとめたうえで、ごみ減量について啓発活動の強化に取り組みます。

3 その他意見・質問

委員氏	ご意見・ご質問内容	区からの説明・回答内容
-----	-----------	-------------

名		
1	個人的な意見であるが、食に関して審議会で食で困っている人たちに支援できる仕組みを作れないか。直接の支援でなくて他の組織と組んでの支援でも良いと思う。	現在、フードドライブで集めた食料品を子ども食堂等に提供する試みを実施しております。具体的な内容については個別にご連絡いただければと思います。
2	何年も審議委員をしていて、実感として何か会議で話し合った事が実行されたという手応えや、実感が無い。むしろ毎年同じことを話し合っているような気さえする。 また、審議員の高齢化がすごく目立つ様になった。年齢層の偏りがあると思う。もう少し幅広く審議委員の方を募ったり、学校など教育機関との連携などもう少し幅広い層へのアプローチが必要だと思う。	審議会に出された意見については、施策に反映するよう努めております。また、実施している施策については、毎年度、審議会にて報告させていただいているところです。 今後、新たな計画に基づき、食品ロスやプラスチックごみ問題に対応していく為には、審議会の皆様のご協力・ご意見等が非常に重要であると認識しています。区として、ごみ処理や展開している施策等の情報を随時提供していくとともに、審議会の皆様と連携して各種の課題について取り組んでいきたいと考えています。 また、公募につきましては、年齢層を絞っての公募は困難ですが、3R推進・清掃事業について区から積極的に情報発信していくとともに、関心を持った方が、よりご参加していただけるような工夫を検討してまいります。
3	コロナ禍で生活の様式が良くも悪くも一瞬で変わった。このような変化に迅速に対応していかなければならない状況が来たのだと思う。その中でゴミの問題は迅速に対応する必要なある問題の割には、なかなか動きが遅い気がする。以前一度提案させてもらったが、このような状況なので、ぜひ Web での会議も検討してもらえんというかと思う。	WEB 会議につきましては、区全体として、活用の推進に動いているところです。審議会に開催にあたっては、全委員が出席できることが前提であるため、WEB 会議を実施するにあたっては、各委員において端末操作等があること等のハードルがあると考えています。つきましては、第2回審議会において、簡単なアンケートを実施させていただく予定です。 なお、第2回審議会につきましては、大変恐縮ですが、会議開催ができない場合は第1回審議会と同様に書面開催とさせていただく予定です。